

青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

会報 第8号＊ 平成28年2月16日発行

会長:嶋田博信 副会長:小谷昭・武田愛雄 事務局長:愛沢伸雄 小谷家当主:小谷福哲

事務局:NPO法人安房文化遺産フォーラム(〒294-0036 千葉県館山市館山95 小高記念館)

TEL&FAX: 0470-22-8271 Eメール awabunka@awa.or.jp

公式サイト <http://aoki-shigeru.awa.jp/> ブログ布良・相浜の漁村日記 <http://meranoumi.wordpress.com/>

＊＊ 会員募集中! 年会費 2,000 円 郵便振替口座 00150-6-616201 青木繁「海の幸」誕生の家 ＊＊

＊小谷家住宅、いよいよ修復竣工!

全国からの温かいご支援により、青木繁「海の幸」誕生の家・小谷家住宅(館山市指定文化財)の修復工事が終わりました。屋根 2,300 枚の葺き替え、外壁にはなまこ壁も復元されました。小谷家当主の老夫婦は、長年住み慣れた母屋から小さな管理棟に居住部を移し、公開に供する母屋の保存・活用に関しては、小谷家当主との覚書により当会が担っています。

小谷家住宅は、建ちの低い桧瓦葺きの平屋建てで、内部に土間はなく、下手に差し掛けの土間・炊事棟を建て、安房地方に多く見られる分棟型民家といわれています。その間取りや垂木止めの洋釘使用など近代的な特徴が見られ、明治 22 年の布良大火後に再建されたと考えられています。客座敷平書院の欄間彫刻は、明治 20 年代から活躍した安房の名工・橘義信の刻銘があり、布良崎神社の神輿と同じ作者です。明治 37 年、青木繁はこの「オクフタマ」に 40 日逗留しています。

従来の分棟型民家は黒潮文化圏の流れが定説とされていましたが、館山市文化財審議委員の日塔和彦氏によると、近年の研究では、ミクロネシアから房州布良に直接流入してきたという新説が発表され、注目されています。



日塔和彦氏の解説見学会

3月5日(土)11:00~11:30

保存会会員と富崎地区住民を対象に、小谷家住宅の特別内覧会を行います。

講演会 13:00~14:20

会場:布良崎神社内集会所

「小谷家住宅と安房の分棟型民家の新見解」を日塔和彦氏が映像で紹介します。

＊公開行事のご案内

オープニングセレモニーは4月24日(日)12時～ 富崎小学校体育館でおこないます。
会員・関係者のみ、参加費 3,000 円、要申込み。

一般公開は4月29日(祝)からが始まり、
GW期間中は5月10日(日)まで特別公開とします。

通年を通しての一般公開は土・日曜のみとし、
入館料(維持修復協力金)は一般 200 円の予定です。
詳細は3月13日(日)の臨時総会を経て、追って
お知らせします。

★ 無印良品ローカルニッポンHPで、小谷家住宅の
保存公開に関する記事が紹介されました。
<http://localnippon.muji.com/news/1764/>

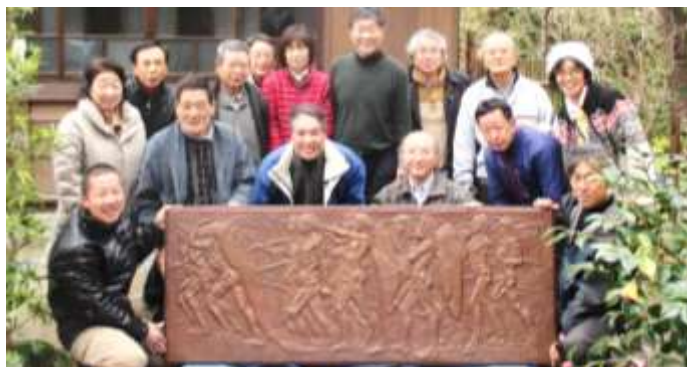


3月13日（日）臨時総会 および小谷家住宅の見学会

小谷家住宅の公開に先立ち、保存会の臨時総会を開催します。14 時より布良崎神社内集会所を会場とします。なお、当日は午前 10 時に小谷家住宅の見学会をおこなった後、昼食・懇談会（弁当予約）をおこないます。保存会の会員は別紙案内を確認のうえ、同封の返信ハガキにて出欠をお知らせ下さい。

船田正廣氏制作のブロンズ像『刻画・海の幸』

～日韓の架け橋として、河正雄氏が5ヶ所（館山・久留米・ソウル・光州・靈巖）に寄贈～



ふなだまさひろ

ハ ジョンウン

船田正廣氏制作の塑像『刻画・海の幸』が河正雄氏の資金提供によりブロンズ鑄造され、小谷家住宅に寄贈されました。除幕式は、3月13日（日）11 時より行います。

船田氏は長野県上田市に生まれ、東京芸術大学卒業後は千葉県立高校の美術教師に着任し、館山市に在住しています。学生時代に『海の幸』と出会い、躍動感あふれる肉体美に感銘を受けたそうです。定年後に勤務した私立安房西高校で、ある日、「これを彫刻にしてみたい」という強い想いにかかれ、3年がかりで塑像『刻画・海の幸』を彫り上げました。完成したのは 2004 年、青木繁が布良の小谷家で『海の幸』を描いてからちょうど 100 年目のことでした。

在日韓国人2世として生まれ育った河氏は、苦学して画家を志すも家庭の事情で果たせず、実業家として成功後は在日画家の援助、日韓文化交流活動など多分野に尽力されてきました。秀でた作品を蒐集して日韓の美術館に寄贈し、在日画家の美術価値を高め広く認識させた功績により、光州市立美術館名誉館長、朝鮮大学校美術学名誉博士、韓国秀林文化財団理事長などを務め、韓国宝冠文化勲章受章、京都市長賞など多数を受賞されています。

お二人は 10 年にわたり親交を深めてきました。ブロンズ『刻画・海の幸』は、財団法人秀林文化財団（河正雄理事長）よりNPO法人安房文化遺産フォーラム（愛沢伸雄代表）を通じて、小谷家住宅と青木繁旧居（福岡県久留米市）に設置されるほか、戦後 70 年・日韓国交正常化 50 周年を記念して、韓国の光州市立美術館分館河正雄美術館・靈岩郡立河正雄美術館・ソウル秀林アートセンターに設置されます。

また、鑄造を担当する岡宮美術（埼玉県川口市）は、札幌「クラーク像」や長崎「26 聖人像」を制作した第一人者であり、台座を制作する俵石材店（千葉県館山市）は、先祖の俵光石が高村光雲の弟子として、東京美術学校の彫刻科教師をしていたという由緒があります。青木繁に導かれる縁は、海を越えて美術友好交流の架け橋となりました。

複製画『海の幸』『わだつみのいろこの宮』

～青木の色彩を忠実に追求した、“にせ物の本物”!?～

絵画作品は、発行されている画集を見比べると、印刷によってそれぞれ色彩が異なります。このたび、以前よりさらに原画の色彩を追求し、忠実に復元した重要文化財2作品が再制作されました。日本屈指の色彩印刷技術保持者の島田吉廣氏（布良在住）は、何度も原画の色調を確認し、『海の幸』では肌や海に反射した夕日の輝き、『わだつみのいろこの宮』では海中の青さと衣装の透明感などに力を入れたといいます。有限会社アートプロセスと有志によって寄贈され、小谷家住宅に展示されることになりました。美術館とはことなり、作品の写真撮影はOKです。

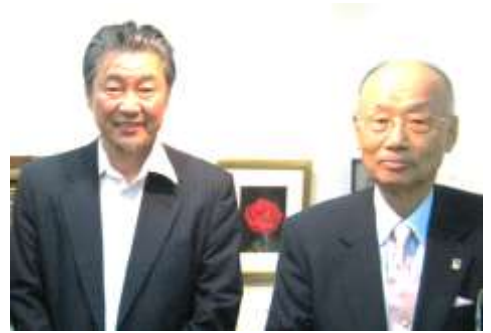
NPO法人青木繁「海の幸」会理事長

*大村智氏、ノーベル医学・生理学賞と文化勲章 受賞！

青木繁『海の幸』誕生の家・小谷家住宅の保存を目的に全国の画家が発足し、チャリティ展などを通じて修復基金を募っているNPO法人青木繁「海の幸」会の理事長・大村智先生が、待望のノーベル医学・生理学賞と文化功労賞を受賞されました。私たちにとっても光栄な喜びであり、大きな励みになります。

大村先生は、女子美術大学名誉理事長や蕤崎市大村美術館長としてご活躍されていますが、一方でその本分は化学者であり北里大学特別荣誉教授でいらっしゃいます。寄生虫感染症の治療薬を開発し、アフリカの3億人を救った功績により、これまでに瑞宝重光賞叙勲、文化功労者受賞をはじめ、日本学士院賞、ドイツのコッホ・ゴールドメダル、アメリカのアーネスト・ガンサー賞、カナダのガードナー国際保健賞ほか多数を受賞されています。

小谷家住宅の修復基金については、2012年の文化功労者受賞に続き、大口の支援金をご寄贈いただき、心より感謝申し上げます。ご多用中のところ、4月のオープンセレモニーには、駆けつけてくださる予定です。大村先生の温かいお人柄は、テレビ報道でもよく伝わりますが、ぜひ会員の皆様には、書籍『大村智物語』『人生に美を添えて』をお勧めします。



小谷家当主と大村先生



*千葉県文化財保護協会より功労者受賞！

11月21日、千葉県文化財保護協会の創立50周年記念式典において、文化財保護の功労者としてその業績が評価され、表彰されました。前年の「ちばコラボ大賞(千葉県知事賞)」に続く快挙です。



*青木繁旧居保存会（福岡県久留米市）の荒木康博会長が来訪！

11月27～28日、福岡県久留米市の青木繁旧居保存会より、荒木康博会長が来訪されました。親交を深めるとともに、青木繁旧居の運営についてご講義いただき、たいへん参考になりました。また、修復基金として会よりご支援いただきましたことを感謝申し上げます。



小谷家住宅の保存に関わる基金と活動の報告

(1) 館山市ふるさと納税

(2 月末現在:円)

	合 計		内 訳	
	件数	金額	海の幸会分	保存会分
H24	19	4,550,000	4,200,000	350,000
H25	24	4,399,504	4,079,504	320,000
H26	58	1,035,000	0	1,035,000
H27	114	13,079,520	7,108,520	5,971,000
累計	215	23,064,024	15,388,024	7,676,000

※ふるさと納税は右表(2)の文化財部分に充当

(2) 修復費と募金内訳

事業総工費	母屋(文化財部分)	管理棟(居住部分)
43,188,000 円	28,188,000 円	15,000,000 円
保存会関係	760 万円	
海の幸会	1,100 万円	
大村智先生	700 万円	
石橋財団	1,200 万円	
館山市補助金	560 万円 (設計監理費)	
合計	4,300 万円	

※ 小谷家負担金(所得税含む) 400 万円

(3) 保存会の会計

(平成 20 年度～27 年度 2 月末現在) ⇒ 補助金*

	収 入	支 出	特別会計*	補助金*
累計	691 万円	415 万円	225 万円	1,321 万円

・国交省:「新たな公」によるコミュニティ創生モデル事業(H21)

・文化庁:文化遺産を活かした地域活性化事業(H23～26)

・文化庁:NPO 等による歴史建造物の管理活用事業(H27)

⇒ 特別会計*(毎年の積立金)=公開に向け整地・造園・内装・造作等

◎ 保存会の活動

- ① 保存管理活動 = 草刈・樹木伐採・修復計画・四者協議会等
- ② 広報部会活動 = 会報・メディア・インターネット等
- ③ 地域振興活動 = ツアーガイド・郷土料理「おらがごつつお」・冊子・マップ作り等
- ④ 募金・会員拡大活動 = 館山市ふるさと納税・瓦プロジェクト等
- ⑤ その他事業活動 = シンポジウム・調査研究・先進地視察等

◎ 特別会計(積立)の使途予定 (225 万円)

・配水管設備	55 万円	・展示設営	20 万円
・塗装	25 万円	・幟旗・チケット	10 万円
・整地・植栽造園	45 万円	・火災保険(地震付保)	10 万円
・建具・表具	35 万円	・予備費	20 万円

～修復基金もあとひと息、「館山市ふるさと納税」にご協力をお願いします。～

(13) 小谷家住宅の保存・活用に関する事業を指定

修復予算に入っていなかった、スロープの手すり、整地・植栽造園等の環境整備や、書画の表装などは、文化庁事業と特別会計(積立金)にてワークショップ形式で実施しました。ご指導くださった安藤表具店主の安藤憲和氏は福岡県八女市出身、森林インストラクターの小池英憲氏は福岡県久留米市に本社をもつ内山緑地のOBです。保存会のメンバーだけでなく、福原有信を語り継ぐ会、鹿野山愛彩の会の方々も力を貸してくださいました。素晴らしいご縁に感謝します。ありがとうございました。

